

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	建築と法制度	
科目基礎情報						
科目番号	0017		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	専門共通科目 (本科)		対象学年	5		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	世界で一番美しい建築デザインの教科書(エクスナレッジ)					
担当教員	池添 純子					
到達目標						
1. 建築計画の意義と建築物の役割・社会との関係を理解し説明できる。 2. 建築物をつくる過程を理解し、計画の進め方の概要を説明できる。 3. 住宅建築の全体・各部計画について概要を理解し説明できる。 4. 建築物に関連する法律について概要を理解し説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	建築計画の意義と建築物の役割・社会との関係及びデザインの役割を考慮した建築計画ができる。		建築計画の意義と建築物の役割・社会との関係及びデザインの役割について理解し説明できる。		建築計画の意義と建築物の役割・社会との関係及びデザインの役割について理解が不十分で説明できない。	
到達目標2	建築物をつくる過程を理解し、計画の進め方の説明できる。		建築物をつくる過程を理解し、計画の進め方の概要を説明できる。		建築物をつくる過程を理解できず、計画の進め方の概要を説明できない。	
到達目標3	住宅建築の全体・各部計画について理解し説明できる。		住宅建築の全体・各部計画について概要を理解し説明できる。		住宅建築の全体・各部計画について概要の理解が不十分で説明できない。	
到達目標4	建築物に関連する法律について理解し説明できる。		建築物に関連する法律について概要を理解し説明できる。		建築物に関連する法律について概要の理解が不十分で説明できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	建築計画の意義や役割、社会との関係について理解する。次いで建築計画の進め方や住宅計画の概要について理解する。さらに、建築に関連する法規について、最低限の知識を身につける。					
授業の進め方・方法	【授業時間30時間+自学自習時間60時間】					
注意点	寸法を学ぶためにコンボックス（メジャー）があれば望ましい。適宜ワークショップ、見学等を行うため、積極的に授業に参加する姿勢が求められる。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	建築計画の概要	建築計画の意義、建築と社会との関係について理解し説明できる		
		2週	建築計画の概要	建築計画の意義、建築と社会との関係について理解し説明できる		
		3週	建築計画の概要	建築計画の進め方について概要を理解し説明できる		
		4週	建築計画の概要	建築の機能と空間について概要を理解し説明できる		
		5週	基本寸法とモジュール	基本寸法とモジュールについて概要を理解し説明できる		
		6週	住宅建築の各部計画	空間構成と人間関係、心理について概要を理解し説明できる		
		7週	住宅建築の各部計画	各部（寝室・居間・台所・トイレ・浴室・玄関・廊下・階段）の計画上配慮すべき点について概要を理解し説明できる		
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	建築関連法規の種類と概要	建築基準法、同施行令、建築士法等建築関係法規について概要を理解し説明できる		
		10週	建築基準法	用語の定義について概要を理解し説明できる		
		11週	都市計画法	都市計画法について概要を理解し説明できる		
		12週	都市計画区域内の建築制限	道路と敷地について理解し説明できる		
		13週	都市計画区域内の建築制限	容積率と建蔽率について理解し説明できる		
		14週	さまざまな関係法令	建築物に関連する災害時の関係法規について概要を理解し説明できる		
		15週	さまざまな関係法令	その他建築物の関係法規について概要を理解し説明できる		
		16週	期末試験返却			
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
評価割合						
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	70	0	30	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	0	30	0	0	90

分野横断的能力	10	0	0	0	0	10
---------	----	---	---	---	---	----